

エコアクション21
環境活動レポート
2013



2013年4月～2014年3月（第6号）

株式会社 近代プラント

作成日：2014年 4月17日

発行日：2014年 6月16日

目次

環境方針.....	3P
1. 事業の概要.....	4P
1). 事業所名及び代表者名	
2). 所在地	
3). 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先	
4). 事業内容(認証・登録の範囲)	
5). 会社沿革	
6). 事業の規模	
7). 許可の内容	
8). 保有台数	
9). 事業年度	
10). 実施体制	
2. 環境目標.....	7P
3. 環境活動計画の内容.....	7P
4. 環境実績.....	8P
5. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価.....	9P
6. 次年度への取り組み内容.....	14P
7. 環境関連法規制等の順守状況.....	14P
8. その他.....	14P
9. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	15P

環 境 方 針

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行う。
 - (1) 二酸化炭素発生量を削減する。
 - (2) 無駄な上水の使用量を削減する。
 - (3) 一般廃棄物を削減する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域の環境保全活動に貢献する。
4. グリーン商品を優先的に購入する。
5. PRTR 法に基づいて、環境に特に影響を及ぼす化学物質を特定し、適正に管理する。
6. 環境活動レポートを公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。

平成25年 4月 1日
株式会社 近代プラント
代表取締役 石田 保

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 近代プラント
代表取締役 石田 保

(2) 所在地

本社 :福岡県福岡市東区松島4-13-15
志摩研修所 :福岡県糸島市志摩野北1497-31

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

責任者:企画調整部 部長 石田 保憲
担当者:汚泥処理 運転係 班長 鹿毛 貴義
本社 TEL092-611-1025

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

福岡市の委託による下水処理場等の施設管理

(5) 会社沿革

昭和43年3月 福岡清栄工業株式会社 設立
昭和50年3月 株式会社近代プラント に社名変更
平成21年6月 エコアクション21の認証を取得
現在に至る

(6) 事業の規模

表1. 事業規模

活動規模	単位	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
処理量					
流入水量(東部水処理センター)	m ³	41,103,698	39,506,580	38,191,330	39,402,830
汚泥供給量(東部水処理センター)	m ³	227,486	199,724	183,865	189,504
MAP 発生量(東部水処理センター)	t	37	28	31	18
脱水ケーキ焼却量	t	41,173	44,119	38,778	43,998
脱水ケーキ運搬量(車両班)	t	5,084	5,349	5,179	5,279
焼却灰運搬量(車両班)	t	4666	4,584	4,441	4,391
肥料生産量(下水道資源センター)	t	1,057	1,039	0	0
従業員(全社)	人	71	71	78	78
床面積					
本社(敷地面積)	m ²	962	962	962	962

(7) 許可の内容

表2. 許可の内容

業の種類	発行機関	許可年月日	事業範囲	許可した廃棄物の種類	有効期限	許可番号
産業廃棄物収集 運搬業	福岡県	H.24 年12月18日	収集・運搬	燃え殻、汚泥、ばいじん	H.29 年12月17日	4000001300

(8) 保有台数

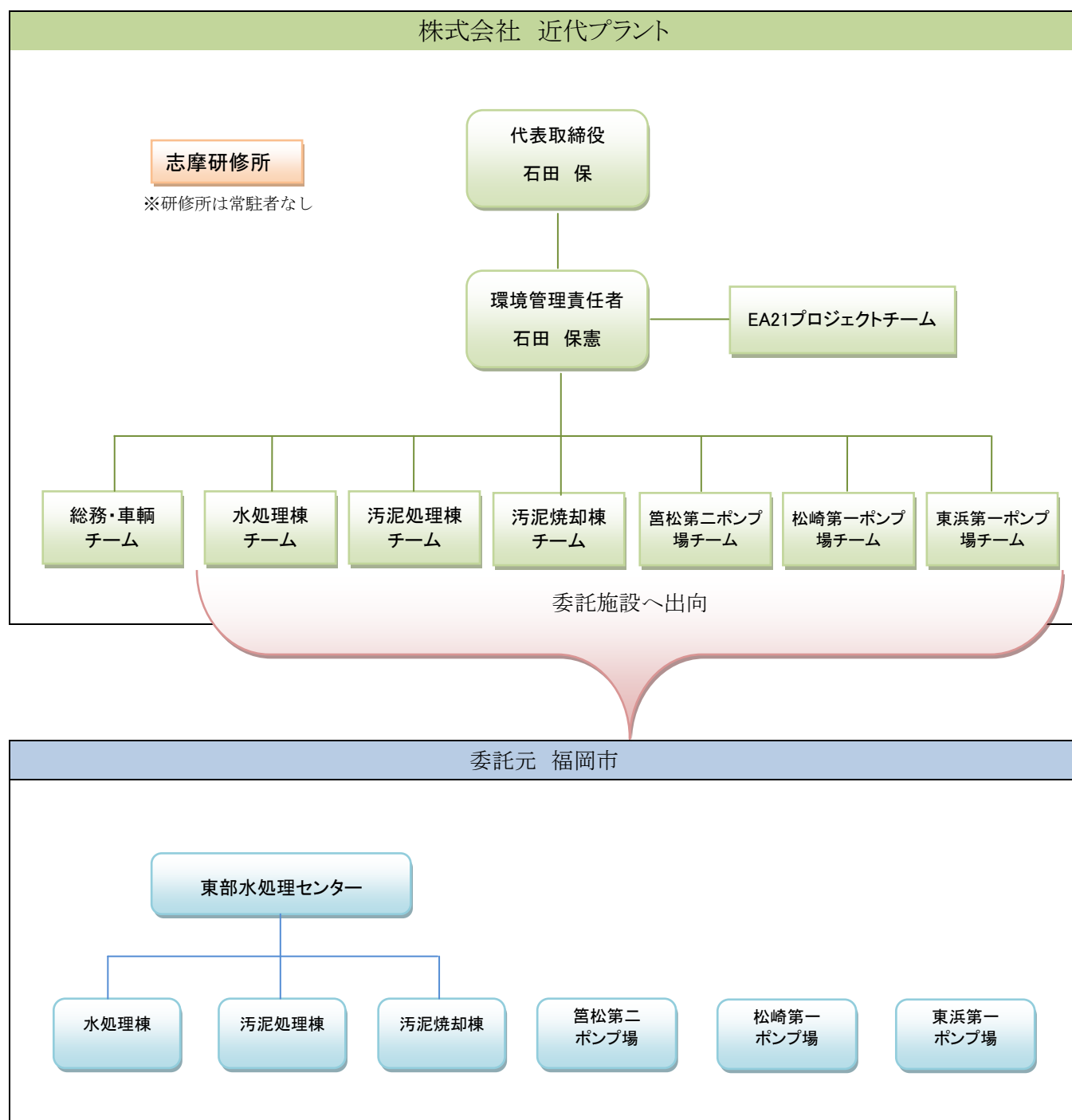
◆10t ジェットパック車	(3 台)	◆乗用車	(5 台)
◆10t ダンプ	(3 台)	◆軽自動車	(10 台)
◆10t バキューム	(1 台)	◆バス	(1 台)
◆4t ダンプ	(3 台)	◆10tダンパー	(1 台)
◆4t ダンパー	(1 台)	◆3tパワーゲート	(1 台)
◆2t ユニック	(1 台)	◆高圧洗浄車	(1 台)
◆フォークリフト	(1 台)		

(9) 事業年度

3 月から翌年 2 月迄

(エコアクション 21 の取り組み期間は平成 24 年度より 4 月から 3 月迄に変更)

(10) エコアクション21 2013 年度 実施体制



2. 環境目標

表3. 2013 年度の取り組み目標 (CO₂ や廃棄物および水の排出量)

環境目標		基準値	2012 年度	2013 年度	2014 年度
			(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
二酸化炭素 排出量削減 [kg-CO ₂ /年]	電力量	10,086,038	9,279,155 △8.0%	9,279,156 △8.0%	9,210,952 △8.7%
	化石燃料	79,725	73,347 △8.0%	73,918 △7.3%	73,772 △7.5%
	合計		9,352,502	9,352,502	9,284,724
廃棄物排出量削減 [kg/年]	一般 廃棄物	1,791	1,648 △8.0%	1,648 △8.0%	1,617 △9.7%
水使用量削減 [m ³ /年]		17,519	16,118 △8.0%	16,118 △8.0%	15,755 △10.1%
化学物質使用量の把握 [L /年]		—	使用量 の把握	使用量 の把握	使用量 の把握

※毎年度の目標値は、2002 年度の実績値を基準値とし、毎年同じ割合で削減した数値とする。実績値の残っていないものに関しては、2009 年度～2011 年度の実績値の平均を基準値として算出。

福岡市の環境目標が決定するまでは、同じ目標値を継続する。

3. 環境活動計画の内容

1) 二酸化炭素の削減

- ・設備の効率的運転
- ・エアコン温度の適正化
- ・不要照明の消灯
- ・エコドライブ運転の実施
- ・アイドリングストップの徹底
- ・給湯温度を低めに設定する

2) 可燃ごみ排出量の削減

- ・生ごみの肥料化
- ・可燃ごみ削減の呼びかけ
- ・リサイクル品を分別する
- ・家庭資源のリサイクル
- ・両面印刷裏紙使用

3) 水の使用量の削減

- ・洗濯物のまとめ洗い
- ・風呂の湯の適正管理
- ・節水標語の貼り付け

4. 環境実績

表4. 2013 年度の取り組みの結果(CO₂や廃棄物および水の排出量)

環境目標		基準値	2011 年度	2012 年度	2013 年度
			(実績) 目標比	(実績) 目標比	(実績) 目標比
二酸化炭素 排出量削減 [kg-CO ₂ /年]	電力量	9,905,981	9,102,038 △8.1%	8,811,598 △5.0%	9,210,407 △0.7%
	化石燃料	86,958	78,857 △9.3%	87,870 19.8% 増	83,893 13.5% 増
	合計		9,180,895	8,899,468	9,294,300
廃棄物排出量削減 [kg/年]	一般 廃棄物	2,127	1,722 △19.0%	1,443 △12.4%	1,333 △19.1%
水使用量削減 [m ³ /年]		28,889	12,609 △56.4%	11,581 △28.1%	11,857 △26.4%
化学物質使用量 の把握[L /年]		—	○(把握で きている)	○(把握でき ている)	○(把握でき ている)

※環境実績の二酸化炭素排出量の係数については以下の数字を用いている

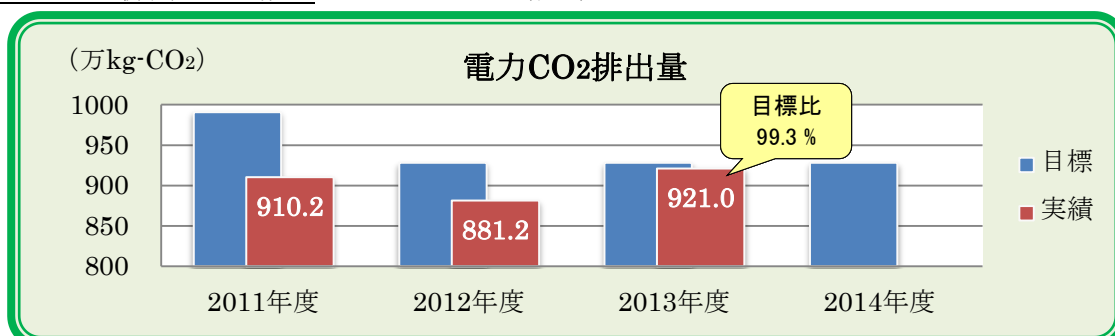
		単位	排出係数	単位発熱量
購入電力		kWh	0.378 (kg-CO ₂ /kWh)	
化石燃料	灯油	L	0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	36.7 (MJ/L)
	A 重油	L	0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)	39.1 (MJ/L)
	都市ガス	Nm ³	0.0513 (kg-CO ₂ /MJ)	41.1 (MJ/Nm ³)
	液化天然ガス (LNG)	kg	0.0494 (kg-CO ₂ /MJ)	54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス (LPG)	kg	0.0598 (kg-CO ₂ /MJ)	50.2 (MJ/kg)
	ガソリン	L	0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)	34.6 (MJ/L)
	軽油	L	0.0687 (kg-CO ₂ /MJ)	38.2 (MJ/L)

5. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価

2013 年度における取組の評価を行った。主な環境活動についての評価を表 5～13 に記す。

◆電力CO₂排出量の削減◆

(表5)

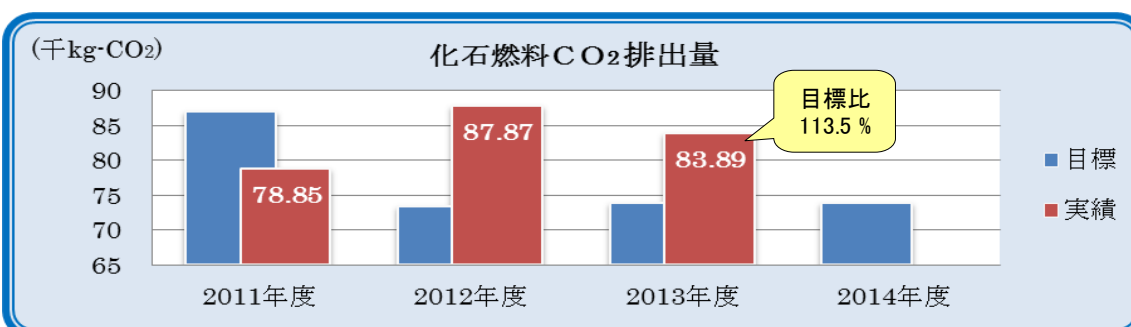


取組内容(2013 年度)	評価
設備の効率的運転	○ あらゆる機器の設定変更や 2 台運転を 1 台運転にするなど効率的運転を心掛けた結果だと評価する。
エアコン温度の適正化	○ エアコン設定温度管理(冷房 28 度、暖房 19 度)、定期的なフィルター掃除が効果的であったといえる。
不要照明の消灯	△ 不要な照明の消灯や確実に点けたら消すが身に付いている、作業に影響が出る場所は安全を考慮し点灯や減灯するようにした。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆化石燃料CO₂排出量の削減◆

(表6)

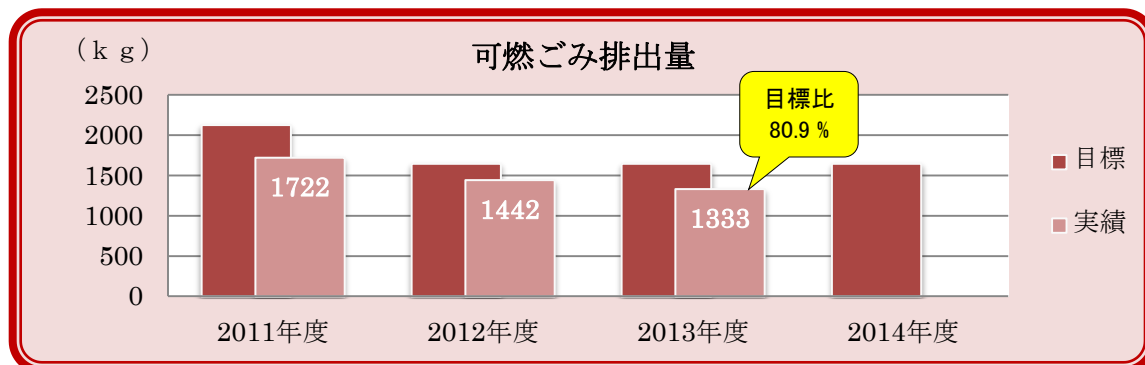


取組内容(2013 年度)	評価
エコドライブ	△ 運転車両におけるエコドライブの手順と法定速度の厳守。他の施設へ車両移動や輸送回数増加でガソリン、軽油使用量が増えたが、指定車両燃費は、目標を達成した。
給湯温度を低めに設定	△ 給湯温度を低めに設定しガスの使用量を把握した。風呂利用回数増加などでガス使用量が増加した。
アイドリングストップ	○ 車内にアイドリングストップシールを表示して取り組みを実施している。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆可燃ごみ排出量の削減◆

(表7)

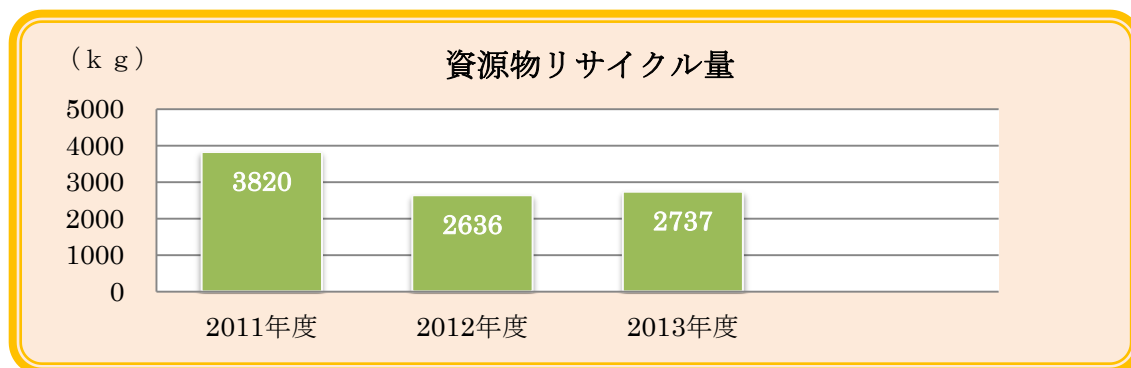


取組内容(2013 年度)	評価
生ゴミ肥料化	○ 茶ガラ等を乾燥させることによりゴミの減量化になる為、今後も続けていきたい。
リサイクル品を分別	○ エコの推進により各社員の意識が高まり、分別、リサイクルの徹底でゴミの減量化につながった。
可燃ごみ削減の呼びかけ	○ 使用後の軍手、使用できなくなった作業着をウエスとして使うなどの継続的な推進により削減できた。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆資源物のリサイクル◆

(表8)

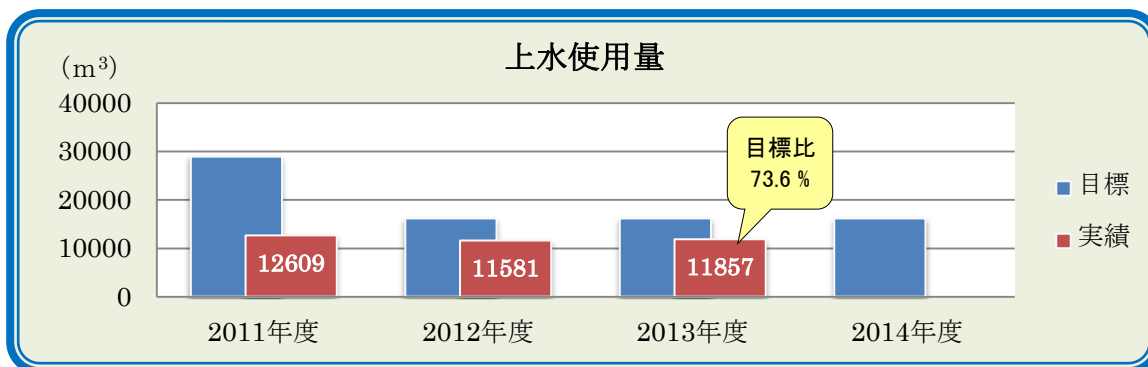


取組内容(2013 年度)	評価
家庭資源のリサイクル	○ 家庭で発生する資源の持ち寄り呼びかけすることで、リサイクルに協力されている事は評価できる。
両面印刷裏紙使用	○ 分別 BOX 設置後は、各自の認識、把握ができ区分や裏紙使用が徹底されている。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆上水使用量の削減◆

(表9)

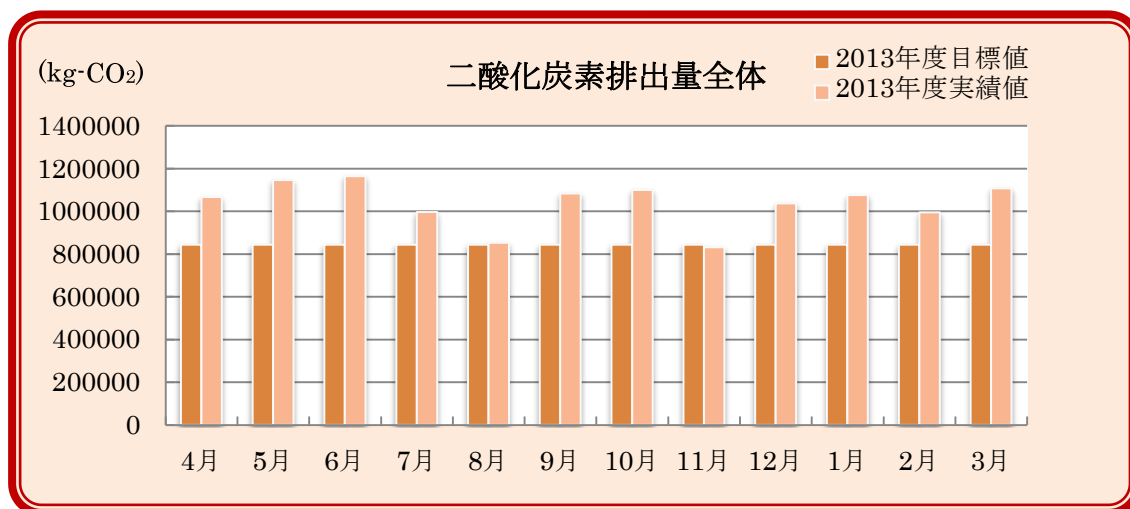


取組内容 (2013 年度)	評価
洗濯物のまとめ洗い	○ 洗濯物をまとめて洗うことにより、洗濯回数を減らし上水の削減に結びついている。
風呂の湯の適正管理	○ 風呂を利用する際に、貯める湯量を適正な量にすることにより、無駄な上水の利用をなくしている。
節水標語の貼り付け	○ 節水標語が目につくように貼り付け、従業員の節水への意識が高まっているので、今後も継続していきたい。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

二酸化炭素排出量全体

(表 10)

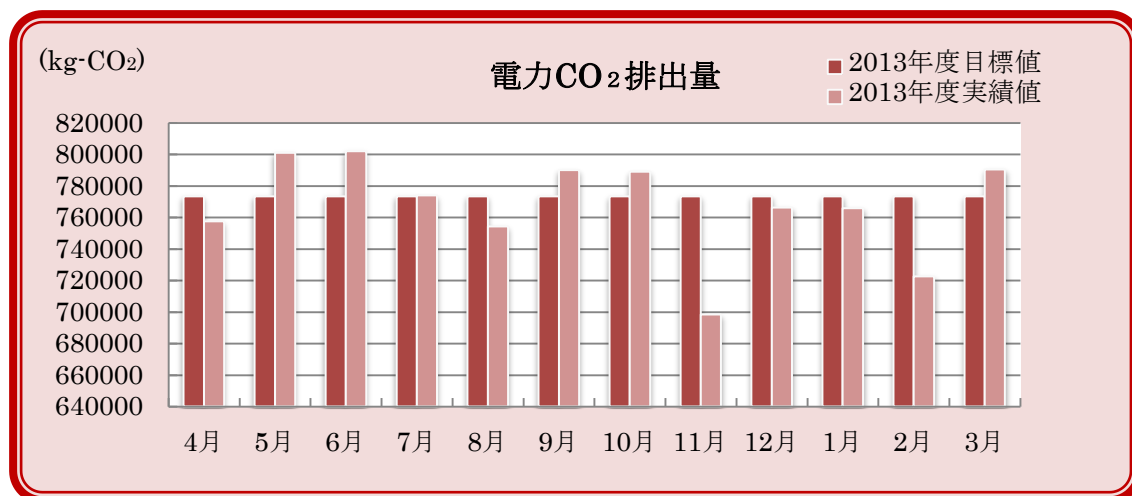


【評価】

二酸化炭素排出量全体では、年間目標値(目標比 115%)を達成することができませんでした。業務上必要な化石燃料の影響が大きいです。自社で削減取り組みのできる項目に関しても化石燃料が年間目標(113.5%)を達成することができませんでした。来年度はこの項目の削減に取り組みたいと思います。

電力 CO₂ 排出量

(表 11)

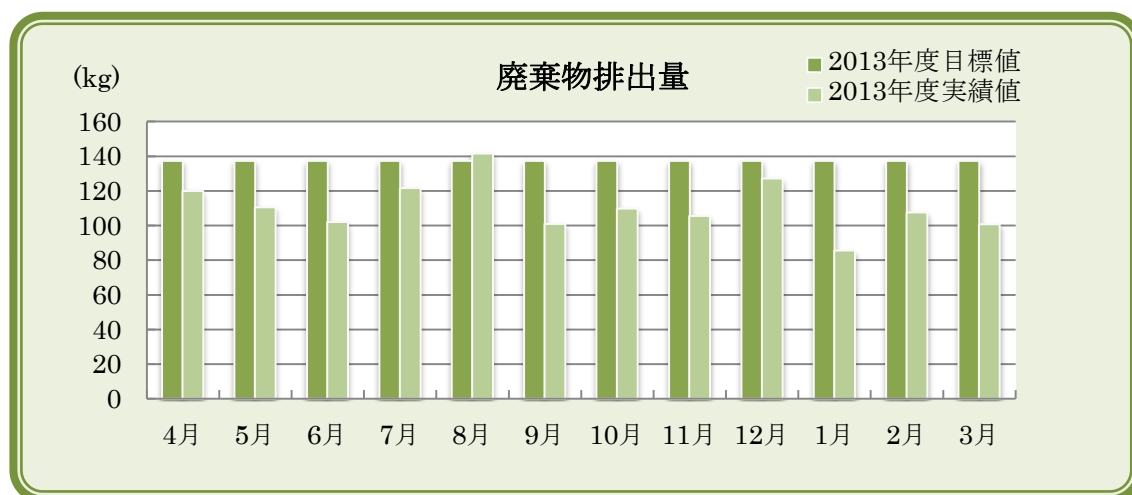


【評価】

電気使用量は、今年度も目標値(目標比 95%)を達成することが出来ました。また、主たる取り組み対象の電力量は、目標比 59.7%でエアコンの設定温度を厳守しながらカーテン・ブラインドによる温度管理を行なったこと、不要な照明の消灯等を行なった結果だと思えます。

廃棄物排出量

(表 12)

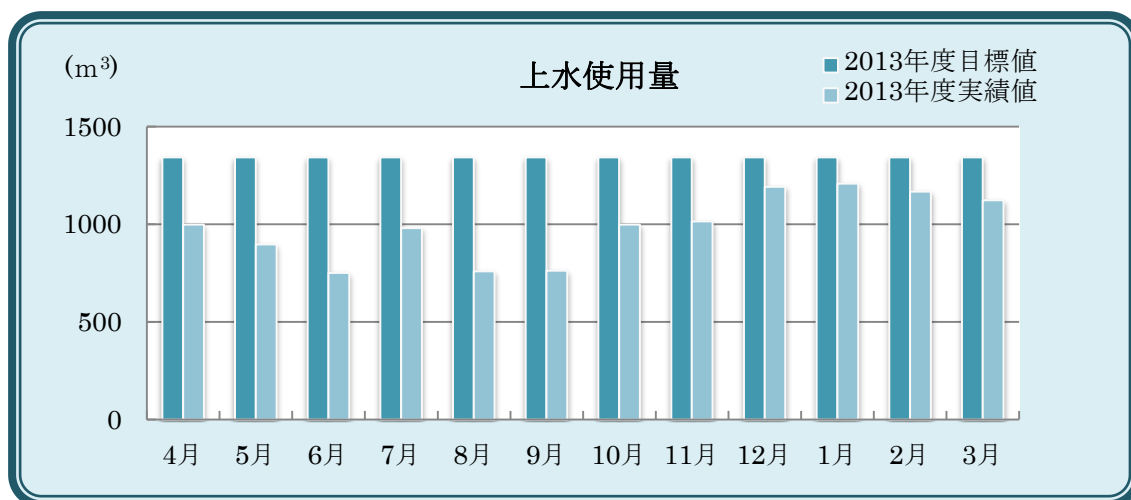


【評価】

可燃ごみの年間排出量は、目標値の 80.9%に抑えることが出来ました。ごみの分別の徹底や、使用済みウエスをすてずに油汚れに使用すること、また今年度からプラスチック類をリサイクルに出すようにした事で、ごみの減量を達成できました。

水使用量

(表 13)



【評価】

水の年間使用量は、目標値の 73.6%でした。これは各部署のこまめな節水により出来たと思います。例えば汚れ物のウエスや軍手などは、ある程度たまってから洗濯するように心掛けてもらったり、水漏れや水のだしっぱなしをこまめにチェックしたりした結果だと思います。来年度も本年度の取り組みを継続していきます。

6. 次年度への取り組み内容

- ①グリーン購入に目標を設定し、達成できるように努める。
- ②廃棄物削減・グリーン購入等の目的で導入した、プリンター再生インク・充電式電池の不具合がないか次年度も引き続き管理していく。
- ③社会情勢に合わせた環境目標の基準値の変更に伴い、目標値を達成できるように努力する。

7. 環境関連法規制等の順守状況

環境関連法規の取りまとめ表に、家電リサイクル法・自動車リサイクル法を追加した。環境関連法規制等(2013年に改定された法律・条例も含む)の順守の状況进行评估した結果、環境法規制等の逸脱はなかった。また過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘はされていない。

最新の法律の改正もインターネットを活用して確認を行っている。

8. その他

周辺清掃の紹介

弊社では各職場の周辺清掃の他に、地域の清掃活動に参加している。今回の清掃活動は9月に開催され、弊社社員と東部水処理センターに関わる職員合わせて約42名が参加した。以下の写真は清掃中に撮影したものである。

清掃活動の写真



・ゴミ収集量 ・可燃物 22 袋 ・不燃物 7 袋 計 29 袋

②資源の収集

弊社では EA21 の取り組み開始に伴い、各職場や社員の家庭で発生する資源を持ち寄り、資源のリサイクルを行っている。2013 年度の結果は下表の通り。

資源を収集することで、各職場に対する呼掛けや、家庭で廃棄処分されている資源のリサイクルという形で効果が表れていると評価できる。

表 14. EA21 における資源の収集結果
H24 年 4 月 ～ H25 年 3 月末

		循環資源量 (kg)
資 源 物	新聞紙	249.9
	段ボール	641.1
	その他の紙	965.4
	アルミ缶	30.0
	スチール缶	220.7
	ペットボトル	118.3
合計		2225.4

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

結果として目標未達成ではありますが、社員の取り組みで削減できる項目については、十分に目標を達成しておりエコアクション21の活動が一層浸透していると評価しております。

来期の目標に関しては排出量削減の推進は現状維持とし、新たに導入されたグリーン購入法や PRTR 法に関連する物品の管理における部署間での連携等、社内体制を盤石なものとすることに重点的に取り組んで参ります。

以上